

科目区分	統合分野	授業科目	在宅看護方法論Ⅰ	
講師名	沼田千喜子 本間智美	実務経験の有無	有	
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次 前期～後期	
<p>目的： 在宅看護における看護の基礎と、基本技術を学習する</p> <p>目標： 1) 療養者の日常生活を「生活行動」として総合的に援助を見極めていくことの必要性がわかる</p> <p>2) 在宅で求められる看護技術の特徴と具体的援助方法がわかる</p> <p>3) 在宅で実施する医療技術と看護の実際がわかる</p>				
回	時間	講義内容		
1 ～ 12 沼田	2	在宅で看護展開するにあたって	活動制限のアセスメントと生活行為への支援	
		在宅で求められる技術の応用	呼吸機能について	
	2	在宅で求められる技術の応用	食生活・嚥下について	
			排泄について	
			移動・移乗について	
			清潔について	
			認知機能のアセスメント法と援助技術	
			褥瘡	
		在宅医療技術	尿道留置カテーテル	
			ストーマ(人工肛門・人工膀胱)	
			経管栄養	
			在宅中心静脈栄養法	
13 14 本間	2	在宅における終末期看護	外来がん治療・疼痛緩和	
		在宅における終末期看護	非侵襲的陽圧換気療法・在宅酸素療法	
14 本間	2	在宅における終末期看護	在宅人工呼吸療法と排痰法	
		在宅における終末期看護		
15	2	単位認定試験	筆記試験	
講義方法		講義		
評価方法		単位認定試験		
テキスト		医学書院：系看護学講座 統合分野 在宅看護論		
備考				